

105-186

問題文

子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 子宮平滑筋が増殖する疾患である。
2. エストロゲン非依存性疾患である。
3. 下腹部痛、月経痛などの症状がある。
4. GnRHアンタゴニストが用いられる。
5. ダナゾール投与により治療を行う際は血栓症に注意が必要である。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

子宮内膜症とは、「子宮内膜」が子宮以外の場所に発生する疾患です。子宮平滑筋が増殖するのは子宮筋腫です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

エストロゲン依存性疾患です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが

GnRH「アゴニスト」が用いられます。ちなみに GnRH は、LHRHとも呼ばれます。代表例がリュープロレリンです。アンタゴニストではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。（）

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 3,5 です。

参考)